

2020年3月期第1四半期決算説明資料

発表日時：2019年7月31日（水）16:00（今回、説明会の開催はございません）

【2020年3月期第1四半期連結決算の概要】

- まず、パワーポイントのスライド1をご覧ください。
- 今回の決算のポイントです。売上高は増収となりました。これは、東京電力グループの販売電力量が減少したものの、燃料費調整額が増加したことなどによるものです。
- また、経常損益は増益となりました。燃料費調整制度の期ずれ影響が好転したこと、グループ全社を挙げた継続的なコスト削減などによるものです。経常損益は6年連続、四半期純損益は5年連続の黒字確保となります。
- さらに、今期は特別損益として、JERAへの火力発電事業等の承継に伴う持分変動利益や、福島第二原子力発電所の廃炉決定による福島第二廃止損失などを計上いたしました。
- 具体的な連結決算の数字については、スライド2をご覧ください。
- 売上高は、前年同期比で11.1%増の1兆5,040億円と増収、経常損益は46.3%増の985億円と増益となり、特別損益を加えた四半期純損益は、2,816億円と増益となりました。経常損益ベースでの増収・増益は2年連続となります。

【セグメント別のポイント】

- スライド3、4では、セグメント別の業績をご説明いたします。
- まず、東京電力ホールディングスの業績です。
- スライド4のセグメント別の売上高と経常損益の表をご覧ください。
- 経営サポート料などの減少により、売上高は前年同期比61億円減収の1,880億円となりました。
- 一方、業務の内製化などによる費用の減少により、経常損益は、25億円増の1,564億円となりました。
- 次に、東京電力フュエル&パワーの業績です。
- 本年4月からFPの火力発電事業はJERAに承継いたしました。その影響により、売上高は前年同期比4,124億円減収の21億円となりました。
- 一方、JERAの持分法投資利益が、燃料費調整制度の期ずれ影響の好転により増加したことなどにより、経常利益は233億円増の458億円となりました。

- 続いて、東京電力パワーグリッドの業績です。
- 託送収益が増加したことなどから、売上高は前年同期比 192 億円増収の 4,123 億円となりました。
- また、修繕費・減価償却費などが減少したことから、経常損益は 38 億円増の 426 億円となりました。
- 最後に、東京電力エナジーパートナーの業績です。
- 燃料費調整制度による販売単価の上昇などにより、売上高は前年同期比 1,090 億円増収の 1 兆 3,790 億円となりました。
- 一方、競争激化などにより、経常損益は 36 億円減少し、120 億円の損失となりました。
- なお、セグメント別の前年同期比較の資料を参考として添付しております。

【連結特別損益の概要】

- 特別損益については、スライド5をご覧ください。
- 福島第二の廃止に伴う会計処理については、後ほど詳細をご説明させていただきますが、まずは全体像をお示しいたします。
- 特別利益は合計で 3,132 億円を計上いたしました。内訳としては、災害損失引当金戻入額が 1,135 億円です。これは福島第二原子力発電所の廃炉決定に伴い、過去に計上した引当金を取り崩したものととなります。また、持分変動利益 1,997 億円は、JERA への火力発電事業などの分割、承継に伴うものです。
- 一方、特別損失は合計で 1,257 億円を計上いたしました。内訳は、原子力損害賠償費の 300 億円、福島第二廃止損失 956 億円となります。
- これにより、特別損益は 1,875 億円の利益となり、前年同期比で 2,342 億円増となりました。

【福島第二原子力発電所の廃炉に伴う会計処理】

- スライド6をご覧ください。
- 本日、廃炉決定した福島第二原子力発電所の廃炉に伴う会計処理について、ご説明させていただきます。
- 廃炉決定に伴う会計処理対象額は 2,891 億円ですが、そのうち発電設備及び核燃料の簿価に相当する 956 億円は、特別損失として一括で損失処理をいたします。

- 残りは1,934億円となりますが、ここには解体引当金の未引当額や使用済燃料の再処理費用、未使用燃料の解体費用等が含まれます。こちらについては廃炉会計制度の適用により、資産計上を行なって10年間で償却いたします。
- 一方、東日本大震災直後に福島第二原子力の災害復旧費用として債務計上した災害損失引当金については、廃炉決定に伴い不要となった分を取崩し、1,135億円を特別利益に計上いたします。

【連結財政状態の概要】

- スライド7をご覧ください。
- 自己資本比率は、引き続き黒字であったことで純資産残高が増加したことに加え、東京電力フュエル&パワーの借入金をJERAへ承継したことにより負債残高が減少したことなどから、前年度末より4.2ポイント改善し26.8%となりました。

【2020年3月期業績予想】

- 最後に、2020年3月期の業績予想については、引き続き、未定としております。

【参考資料（スライド8以降）、補足資料（スライド14以降）】

- スライド8以降は参考資料および補足資料です。

以上